

個人発表・グループ発表

研究発表

10 月 13 日（日）

7 A 棟講義室（A ～ J 会場）

研究発表タイムテーブル（10月13日） 発表者名の下の（）内は座長名

会場名 (講義室) 定員	A (101) 70 人	B (102) 72 人	C (103) 71 人	D (106) 92 人	E (202) 39 人
9:30-9:55	A-1 川野和昭 (林圭史)	B-1 伊賀みどり (刀根卓代)	C-1 宮平盛晃 (萩谷良太)	D-1 才津祐美子 (菊池健策)	E-1 錦田寛史 (佐々木美智子)
10:00-10:25	A-2 グループ発表 モノが語る人と 自然、社会	B-2 グループ発表 清潔の近現代	C-2 佐藤響 (萩谷良太)	D-2 門脇茉海 (菊池健策)	E-2 鈴木英恵 (佐々木美智子)
10:30-10:55	篠崎茂雄 今石みぎわ 平良宣子 大山孝正	門地里絵 原水聡史 中村純二 武馬吉則 関沢まゆみ 福田直子 新谷尚紀	C-3 中葉博文 (宮内貴久)	D-3 田村和彦 (菊池健策)	E-3 金田久璋 (佐野賢治)
11:00-11:25			C-4 由谷裕哉 (宮内貴久)	D-4 清水博之 (俵木悟)	E-4 白川琢磨 (佐野賢治)
11:30-11:55			C-5 久野俊彦 (宮内貴久)	D-5 樋口明里 (俵木悟)	E-5 KAHRAMAN Cahit (佐野賢治)
休憩					
13:00-13:25	A-3 山本亮子 (山川志典)	B-3 関口東亜 (白川琢磨)	C-6 グループ発表 よみがえらせよう!	D-6 グループ発表 地方民間博物館	E-6 山村恭子 (阿南透)
13:30-13:55	A-4 山下裕作 (山川志典)	B-4 松山由布子 (白川琢磨)	「野の芸術」論! 菅豊 俵木悟 加藤幸治 川田牧人	とその時代 山田巖子 小池淳一 丸山泰明 小島孝夫	E-7 高久舞 (阿南透)
14:00-14:25	A-5 門口実代 (清水博之)	B-5 村田典生 (谷口貢)			E-8 松岡薫 (阿南透)
14:30-14:55	A-6 横田尚美 (清水博之)	B-6 横田慶一 (谷口貢)			E-9 羽田野京 (高久舞)
15:00-15:25	A-7 葉山茂 (森隆男)	B-7 渡瀬綾乃 (西海賢二)			C-7 柴田香奈子 (川森博司)
15:30-15:55	A-8 三津山智香 (森隆男)	B-8 大田黒司 (西海賢二)	C-8 佐藤喜久一郎 (川森博司)	D-8 荒井浩幸 (森田真也)	E-11 牧野由佳 (高久舞)

会場名 (講義室) 定員	F (203) 39 人	G (204) 39 人	H (206) 39 人	I (207) 39 人	J (210) 77 人
9:30-9:55	F-1 吉田征二 (八木透)	G-1 平松典晃 (佐藤喜久一郎)	H-1 廣瀬由子 (岩野邦康)	I-1 青木龍 (中里亮平)	J-1 藤崎綾香 (平井芽阿里)
10:00-10:25	F-2 工藤豪 (八木透)	G-2 宋丹丹 (佐藤喜久一郎)	H-2 岸本昌良 (岩野邦康)	I-2 三隅貴史 (中里亮平)	J-2 澤井真代 (平井芽阿里)
10:30-10:55	F-3 市川秀之 (八木透)	G-3 橋弘文 (常光徹)	H-3 吉村風 (渡部圭一)	I-3 市東真一 (中里亮平)	J-3 阿利よし乃 (神谷智昭)
11:00-11:25	F-4 樋田竜男 (柏木亨介)	G-4 三浦理沙 (常光徹)	H-4 辻本侑生 (渡部圭一)	I-4 石川俊介 (川田牧人)	J-4 加藤正春 (神谷智昭)
11:30-11:55	F-5 岩瀬春奈 (柏木亨介)		H-5 内山大介 (渡部圭一)	I-5 雷婷 (川田牧人)	J-5 発表辞退
休憩					
13:00-13:25	F-6 清水亨桐 (田中久美子)	G-5 松本美虹 (松田睦彦)	H-6 岡本真生 (飯島康夫)	I-6 阿盈娜 (柏木亨介)	J-6 福寛美 (小熊誠)
13:30-13:55	F-7 鈴木良幸 (田中久美子)	G-6 小早川道子 (松田睦彦)	H-7 間所瑛史 (飯島康夫)	I-7 佐島隆 (柏木亨介)	J-7 施亮 (小熊誠)
14:00-14:25	F-8 三国信一 (田中久美子)	G-7 小笠原輝 (辻本侑生)	H-8 金城ハウプトマン 朱美 (及川祥平)	I-8 塩瀬博子 (余志清)	J-8 平井芽阿里 (萩原左人)
14:30-14:55	F-9 小野寺佑紀 (板橋春夫)	G-8 渡部圭一 (辻本侑生)	H-9 秋野淳一 (及川祥平)	I-9 李干 (余志清)	J-9 Hara Alina- Alexandra (萩原左人)
15:00-15:25	F-10 角南聡一郎 (板橋春夫)	G-9 高木大祐 (辻本侑生)	H-10 アンドリュース・ デール (及川祥平)	I-10 陳宣聿 (余志清)	
15:30-15:55	F-11 川嶋麗華 (板橋春夫)			I-11 MANGIN Alexandre (余志清)	

■ A 会場（101 講義室）

A-1 9:30-9:55 川野和昭（鹿児島県）

竹籠仮面の比較

A-2 10:00-11:55 グループ発表

モノが語る人と自然、社会―「箕」をめぐる民俗学的研究―（代表者 今石みぎわ）

篠崎茂雄（栃木県立博物館）

「市貝の箕」に見る箕作り職人の現状と課題

今石みぎわ（東京文化財研究所）

箕のかたちと製作技術の全国的展開について―一片口箕を中心に―

平良宣子（毛呂山町歴史民俗資料館）

箕と信仰

大山孝正（福島県文化財センター白河館）

福島県内における箕の生産と流通

休憩

A-3 13:00-13:25 山本亮子（國學院大學大学院文学研究科）

神酒口の形状と分布

A-4 13:30-13:55 山下裕作（熊本大学）

祈念する器たちの民俗誌―記念酒器に見る生活者たちの事業と願い―

A-5 14:00-14:25 門口実代（三重県総合博物館）

人びとの縁をつなぐ「嫁入り座布団」―香川県西讃地域の事例から―

A-6 14:30-14:55 横田尚美（滋賀県立大学）

滋賀県犬上郡多賀町落合の衣生活―2018 年に見つかった衣料品 200 点弱から―

A-7 15:00-15:25 葉山茂（国立歴史民俗博物館）

守札にみる社会的関係の広がり―宮城県気仙沼市の民家を事例に―

A-8 15:30-15:55 三津山智香（筑波大学大学院）

畜産農家と絵馬―青森県おいらせ町の絵馬市に着目して―

■ B会場（102 講義室）

B-1 9:30-9:55 伊賀みどり（帝京平成大学非常勤講師）
出産文化の戦後―「産婆さん」のライフヒストリー研究―

B-2 10:00-11:55 グループ発表
清潔の近現代―民俗の実態と啓発の視点―（代表者 関沢まゆみ）

門地里絵・原水聡史・中村純二・武馬吉則（花王株式会社）
きれいの変遷―清潔と洗浄の文化研究の活用―
関沢まゆみ（国立歴史民俗博物館）
洗浄と清潔―民俗資料にみる入浴・洗髪・歯磨き―
福田直子（國學院大學大学院生）
歯磨きの近現代―むし歯予防から丈夫な歯へ、きれいな歯へ―
新谷尚紀（国立歴史民俗博物館 名誉教授）
歴史と民俗からみる「禊ぎ・祓へ・清め」

休憩

B-3 13:00-13:25 関口東亜（筑波大学生）
古町御嶽普勧講社におけるシャーマニズムとその精神世界

B-4 13:30-13:55 松山由布子（日本学術振興会特別研究員（PD））
陰陽師と暦師のあいだ―奈良暦師吉川家所蔵祭文を中心に―

B-5 14:00-14:25 村田典生（佛教大学）
長崎県旧外海町のキリスト教信仰

B-6 14:30-14:55 横田慶一（筑波大学大学院）
寺院運営と儀礼に見る僧侶と信徒の信仰実践
―新興の天台宗祈祷寺院における教理の受容と儀礼構築―

B-7 15:00-15:25 渡瀬綾乃（筑波大学大学院）
「薩摩の毛坊主」再考

B-8 15:30-15:55 大田黒司（神奈川大学大学院生 開新高等学校教諭）
天草における山岳信仰―産島、帽子岳、倉岳を事例に―

■ C 会場（103 講義室）

C-1 9:30-9:55 宮平盛晃（琉球大学・島嶼地域科学研究所）
民俗文化に残る鉄器の流入と伝播の痕跡
ー広域調査からの重出立証法と個別分析法の展開と可能性ー

C-2 10:00-10:25 佐藤響（國學院大學大学院）
民俗の地域的特色ー東京都多摩地域の場合ー

C-3 10:30-10:55 中葉博文（富山県立新湊高等学校再任用教諭）
高校教育における探究的な学習と民俗学
ー富山県内の公立高校二校で実践した「地域調査」を例にー

C-4 11:00-11:25 由谷裕哉（小松短期大学）
戦時下における原田敏明の祭祀論と柳田國男

C-5 11:30-11:55 久野俊彦（東洋大学非常勤講師）
村落書物論ー村落における書物の機能とエコロジーー

休憩

C-6 13:00-14:55 グループ発表
よみがえらせよう！「野の芸術」論！
ー民俗学におけるアート研究の視座の構築ー（代表者 菅豊）

菅豊（東京大学大学院情報学環・学際情報学府）
「野の芸術」論序説
ー「生を支えるアート（vernacular art）の創造性と社会的意味ー

俵本悟（成城大学文芸学部）

オロチが境界を掻き乱すー石見神楽の蛇胴製作に見るヴァナキュラー・アートー
加藤幸治（宮城県）

メモリーオブジェクトと無用の造形
ー捕鯨の町・鮎川におけるクジラの珍物をめぐってー
川田牧人（成城大学文芸学部）

シマを楽しくする方法ー奄美の興宴実践ー

C-7 15:00-15:25 柴田香奈子（創価大学）
手まねの発話から考える修道士の育成ードイツ厳律シトー修道会の事例からー

C-8 15:30-15:55 佐藤喜久一郎（育英短期大学）
「民俗的歴史」の生き延び方ー多胡碑隠匿事件の背景ー

■ D 会場（106 講義室）

D- 1 9:30-9:55 才津祐美子（長崎大学）

「潜伏キリシタン関連遺産」の問題点と今後の課題ー長崎市外海地区を中心にー

D- 2 10:00-10:25 門脇茉海（公益財団法人日本交通公社）

世界文化遺産登録後の富士信仰と観光を取り巻く動向

D- 3 10:30-10:55 田村和彦（福岡大学）

現代中国における物質文化の展示の展開と可能性について

ー国際シンポジウム「中日韓民俗博物館の現状と未来」の経験からー

D- 4 11:00-11:25 清水博之（茨城キリスト教大学）

ユネスコ無形文化遺産保護条例は何を変えたのか

ー「代表一覧表」記載後の山・鉾・屋台行事ー

D- 5 11:30-11:55 樋口明里（長野市立博物館）

曳き出されなくなった屋台ーモノと地域の意識ー

休憩

D- 6 13:00-14:55 グループ発表

地方民間博物館とその時代ー小川原湖民俗博物館の軌跡ー（代表者 山田巖子）

山田巖子（青森県）

渋沢敬三のネットワークと小川原湖民俗博物館

小池淳一（東京都）

中道等の民俗学と博物館

丸山泰明（奈良県）

博物館史における小川原湖民俗博物館の特徴

小島孝夫（成城大学文芸学部）

民間博物館における民俗資料継承の課題

ー世代間の民俗資料の捉え方の差異をめぐってー

D- 7 15:00-15:25 林春伽（日本女子大学大学院）

観光地におけるウチとソト

D- 8 15:30-15:55 荒井浩幸（成城大学大学院生）

長野県木曽路の町並み保存地区における暮らしの変容

■ E 会場（202 講義室）

- E- 1 9:30-9:55 錦田寛史（東北大学大学院生）
「アソバレル」神々―警蹕・降神の検討からみる、「古」の解釈について―
- E- 2 10:00-10:25 鈴木英恵（群馬パース大学非常勤講師）
病いと年中行事―群馬県における道切り行事を中心に―
- E- 3 10:30-10:55 金田久璋（福井民俗の会）
狐の玉と稲荷の祭祀・勧請形態―若狭の屋敷稲荷の事例から―
- E- 4 11:00-11:25 白川琢磨（福岡大学名誉教授）
柴（シバ）の宗教民俗―柴（シバ）・榊（サカキ）・櫛（シキミ）の三角形―
- E- 5 11:30-11:55 KAHRAMAN Cahit（Namik Kemal University, Turkey）
ハレとケの境を行き来する人々―四国の神楽を例に―
- 休憩
- E- 6 13:00-13:25 山村恭子（館山市生涯学習課）
御船歌とミノコドリ―館山市相浜の「ヲフネノマチ」を中心に―
- E- 7 13:30-13:55 高久舞（東京都）
「手作り」歌舞伎の変遷と現在―菅生一座を事例として―
- E- 8 14:00-14:25 松岡薫（東京外国語大学）
俄における演目と演技の制作技法―熊本県阿蘇郡高森町の事例から―
- E- 9 14:30-14:55 羽田野京（筑波大学大学院生）
誰がアバレボー／逸脱者を禁じたか―姫島盆踊りにおける規制と解釈をめぐって―
- E- 10 15:00-15:25 近藤大知（國學院大學大学院文学研究科）
西浦田楽「山家惣とめ」考
- E- 11 15:30-15:55 牧野由佳（総合研究大学院大学文化科学研究科
日本歴史研究専攻博士後期課程）
愛知県知多「朝倉の梯子獅子」における信仰伝承―世代間の変容を中心に―

■ F 会場（203 講義室）

F- 1 9:30-9:55 吉田征二（國學院大學大学院）
観光地周縁の近隣組機能の変化―神奈川県秦野市蓑毛の場合―

F- 2 10:00-10:25 工藤豪（非常勤講師）
隠居制家族に関する一考察―滋賀県長浜市余呉町の事例分析―

F- 3 10:30-10:55 市川秀之（滋賀県立大学）
村落運営における当屋制―滋賀県の事例を中心に―

F- 4 11:00-11:25 樋田竜男（たかやまそふと）
神社（山宮）と高地性集落の同一性―狼煙監視の視点から―

F- 5 11:30-11:55 岩瀬春奈（國學院大學大学院文学研究科）
山住神社におけるゴジング供えとネギ

休憩

F- 6 13:00-13:25 清水亨桐（サニーパレス四谷壱番館）
川崎市内の巡行仏習俗の伝承の現況

F- 7 13:30-13:55 鈴木良幸（日本福祉大学非常勤講師）
「サスライ」概念にみる狩猟と災いの関係―宮崎県西都市の事例―

F- 8 14:00-14:25 三国信一（新潟県立歴史博物館）
霊魂が出入りする窓―熊野灘沿岸地域における水窓の民俗―

F- 9 14:30-14:55 小野寺佑紀（神奈川大学大学院）
利根川河口域における海難者供養―立正佼成会の「水難供養」を事例として―

F- 10 15:00-15:25 角南聡一郎（公益財団法人元興寺文化財研究所）
墓標銘からみた「法師」像―在俗法師研究に向けて―

F- 11 15:30-15:55 川嶋麗華（國學院大學大学院生）
ヤキバと火葬場における火葬の伝承と変遷

■ G 会場（204 講義室）

G- 1 9:30-9:55 平松典晃（帝塚山大学非常勤講師）

岡山県南部における報恩大師伝承の展開について

G- 2 10:00-10:25 宋丹丹（総合研究大学院大学国際日本研究専攻）

日本における岩石伝説の「身体性」

G- 3 10:30-10:55 橘弘文（大阪観光大学）

うつぼ船の再利用をめぐる伝説について

G- 4 11:00-11:25 三浦理沙（國學院大學大学院生）

死者霊出現の表現

休憩

G- 5 13:00-13:25 松本美虹（武蔵野美術大学 民俗資料室）

伝統工芸の継承―埼玉県秩父地域の織物産業を事例として―

G- 6 13:30-13:55 小早川道子（中京大学）

伊勢湾周辺地域におけるボラの利用

G- 7 14:00-14:25 小笠原輝（山梨県富士山科学研究所）

山梨県忍野村高座山草原における火入れの意義

G- 8 14:30-14:55 渡部圭一（琵琶湖博物館）

石工の採石労働にみる山の環境と資源管理―近江国滋賀郡北比良村を事例に―

G- 9 15:00-15:25 高木大祐（千葉県）

地域が共有するもの―和歌山県上富田町の共有林管理団体の事例から―

■ H 会場（206 講義室）

H- 1 9:30-9:55 廣瀬由子（筑波大学人文・文化学群比較文化学類）
灯火管制下における伝統的な「明かり」への憧憬

H- 2 10:00-10:25 岸本昌良（日本国民）
神前結婚式の意義―出会い式の創出―

H- 3 10:30-10:55 吉村風（国立国会図書館）
村規約と生活改善規約―滋賀における「生活改善規約」の変遷―

H- 4 11:00-11:25 辻本侑生（民間企業勤務）
民俗学者旧蔵資料アーカイブの可能性と課題に関する論点整理
―山口弥一郎旧蔵資料を中心に―

H- 5 11:30-11:55 内山大介（福島県立博物館）
山口弥一郎の学問形成とノート利用の変遷―旧蔵資料アーカイブの試みから―

休憩

H- 6 13:00-13:25 岡本真生（関西学院大学非常勤講師）
ヴァナキュラー宗教の民俗誌―集団 A の事例から―

H- 7 13:30-13:55 間所瑛史（筑波大学大学院）
神葬祭のムラで語られる「歴史」―群馬県神流町生利戸野耕地を事例に―

H- 8 14:00-14:25 金城ハウプトマン朱美（富山県立大学）
ドイツのフェアアイン

H- 9 14:30-14:55 秋野淳一（國學院大學兼任講師）
尾崎豊の歌碑に集う人たち―東京渋谷の聖地巡礼―

H- 10 15:00-15:25 アンドリューズ・デール（東北学院大学）
ユーモアに富む絵馬―アニメ聖地巡礼者の世界観をめぐって―

■ I 会場（207 講義室）

I-1 9:30-9:55 青木龍（東京都）

東京都区部における初午行事—子どもの関与を中心として—

I-2 10:00-10:25 三隅貴史（関西学院大学大学院）

神輿を担ぐことの文化政治—東京圏の神輿渡御・神輿パレードを事例として—

I-3 10:30-10:55 市東真一（神奈川大学大学院）

祭礼における模倣と権威—沼田まつりを事例に—

I-4 11:00-11:25 石川俊介（追手門学院大学社会学部専任講師）

諏訪大社上社御射山祭の現在—神輿登座神事を中心に—

I-5 11:30-11:55 雷婷（東京大学大学院生）

中国・金山農民画の事例からみる「女性イメージ」の表象

休憩

I-6 13:00-13:25 阿盈娜（神奈川大学大学院 歴史民俗資料学研究科）

モンゴル人におけるヒツジの屠殺と食事活動

——青海省海西州都蘭県ゾンジャ鎮テンゲーレゲ村の例として

I-7 13:30-13:55 佐島隆（大阪国際大学）

トルコ共和国におけるアダック（adak：願かけ）について

—地域社会におけるイスラームと民間信仰—

I-8 14:00-14:25 塩瀬博子（福井民俗の会）

新羅系神社について—その分布図からの考察—

I-9 14:30-14:55 李干（神奈川大学大学院生）

台湾原住民セデック族の「出草（首狩り）」風習に関する研究

I-10 15:00-15:25 陳宣聿（東北大学大学院生）

いのちの区切り—台湾における夭逝した子どもの遺体処理と靈魂救済の民俗—

I-11 15:30-15:55 MANGIN Alexandre（立教大学助教）

フランスの人文科学系博物館の現状と見通し

■ J 会場（210 講義室）

J- 1 9:30-9:55 藤崎綾香（筑波大学大学院）

村落祭祀を支える区長―沖縄県南城市奥武区自治会を事例に―

J- 2 10:00-10:25 澤井真代（日本学術振興会特別研究員）

八重山大阿母のはたらき―村落を越える活動―

J- 3 10:30-10:55 阿利よし乃（沖縄県立博物館・美術館）

門中墓の移動と継承―那覇・読谷の土族系門中の事例―

J- 4 11:00-11:25 加藤正春（ノートルダム清心女子大学非常勤講師）

沖縄県旧久志村汀間のかつての葬法をめぐって―山留と葬送―

J- 5 11:30-11:55 発表辞退

休憩

J- 6 13:00-13:25 福寛美（法政大学沖縄文化研究所）

身体と霊力―『おもろさうし』の肝

J- 7 13:30-13:55 施堯（東京大学大学院総合文化研究科文化人類学コース博士課程）

なぜ沖縄の民謡はいきいきとしているか―沖縄県那覇市の民謡サークルの実践―

J- 8 14:00-14:25 平井芽阿里（中部大学）

ユタのようでユタではない―現代沖縄のユタの役割に関する一考察―

J- 9 14:30-14:55 Hara Alina-Alexandra（琉球大学 島嶼地域科学研究所）

「裏石垣」の祭祀継承における戦後移住者の役割

―多様化する島嶼社会とその文化の担い手に関する一考察